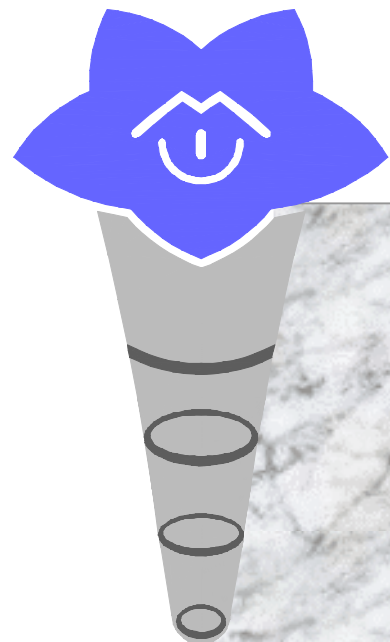




瑞浪超深地層研究所の現状

平成17年8月1日

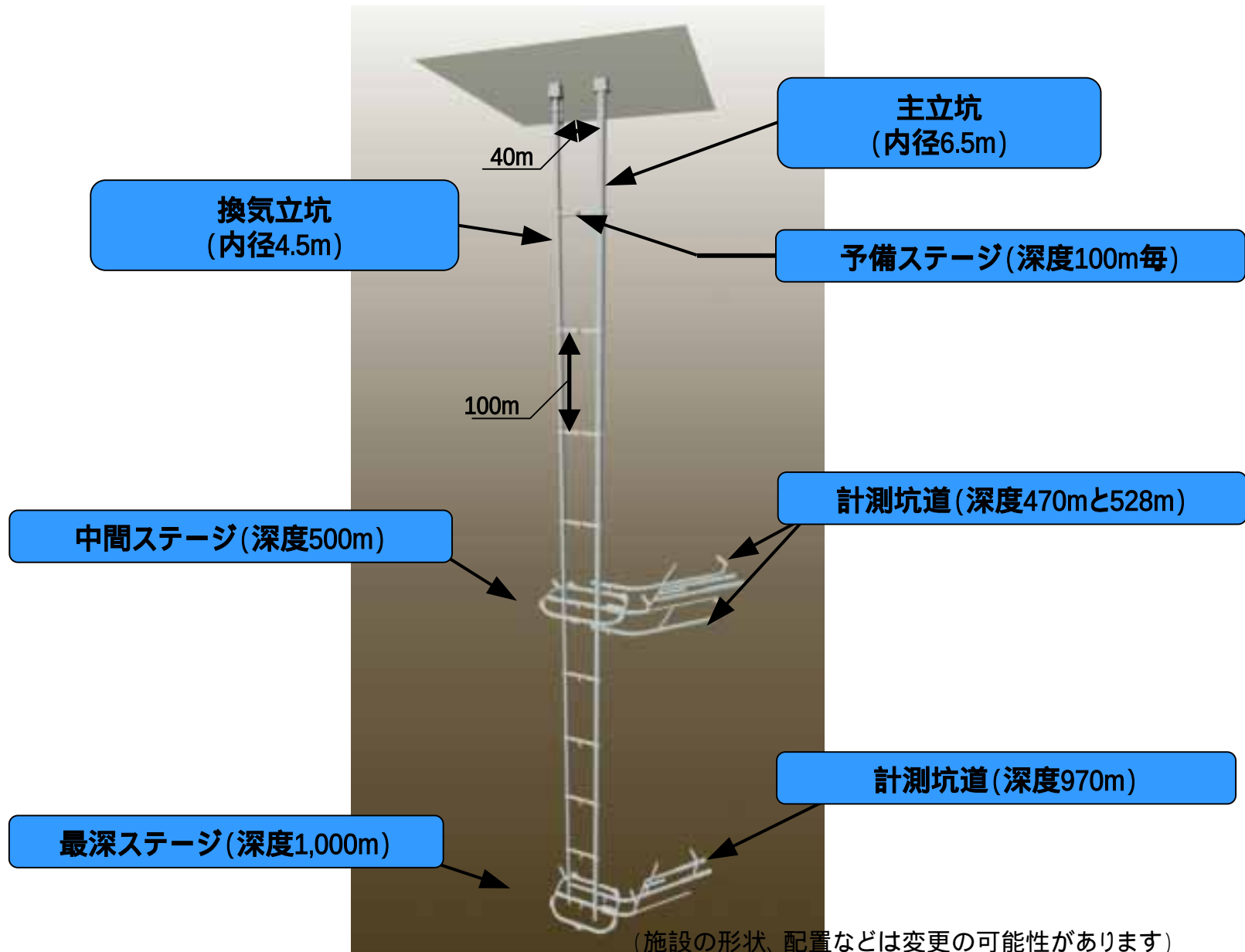
核燃料サイクル開発機構
東濃地科学センター

地上設備の設置状況(外観)

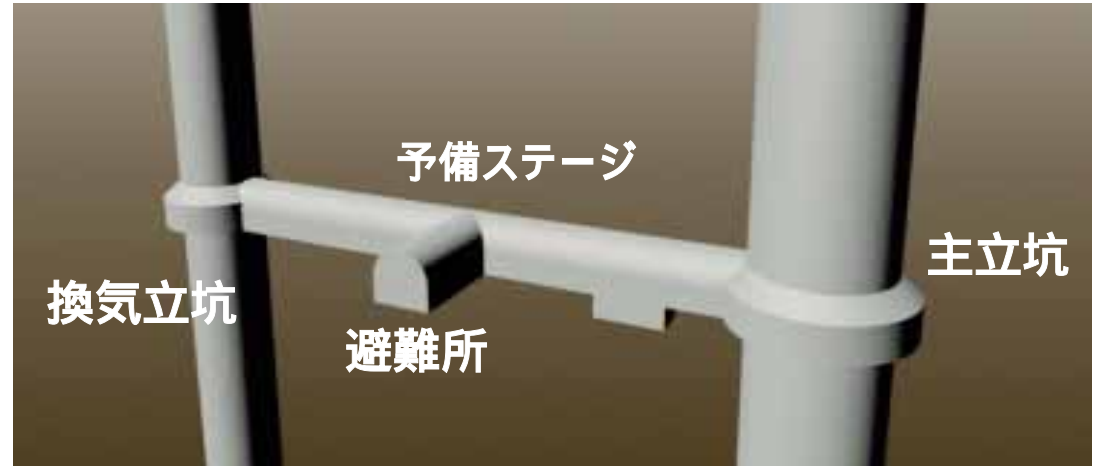
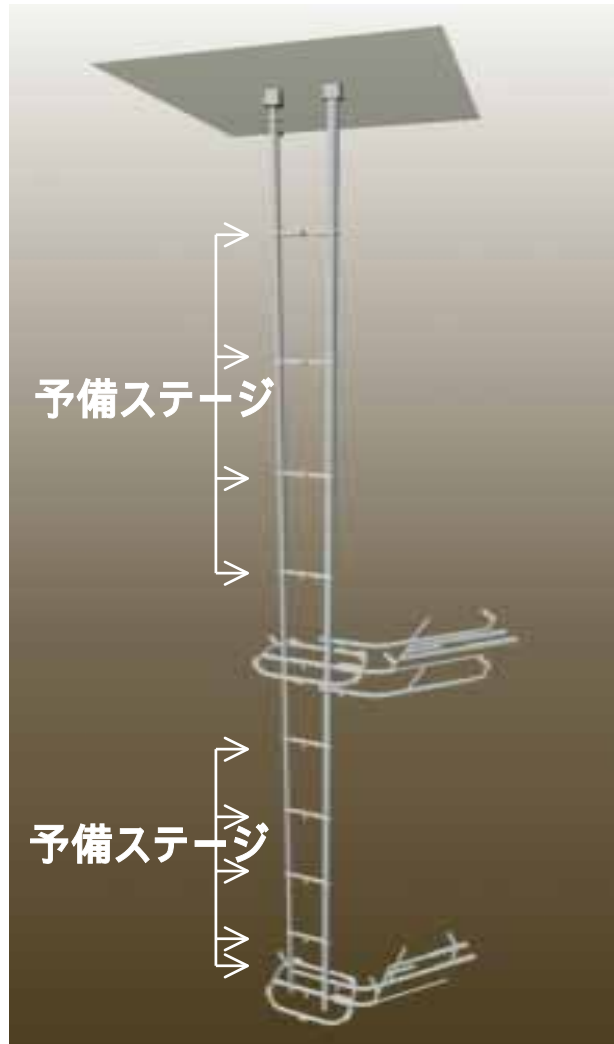


航空写真(平成17年3月撮影)

地下施設イメージ図



(施設の形状、配置などは変更の可能性があります)



予備ステージのイメージ

- 1) 予備ステージ : 高さ3.0m × 幅3.0m
長さ 約30m
- 2) 避難所 : 高さ3.0m × 幅3.0m
長さ 6m (深度100m)
- 3) 形状 : 馬蹄形 

予備ステージ(深度100m)



(平成17年6月16日貫通)





立坑、予備ステージの様子(ビデオ)

7

立坑内の様子

ズリ出し作業の様子

予備ステージの様子



平成17年度中に深度300mまでの掘削を予定

8





施設利用や共同研究

1. 施設利用

実施予定

- ・東濃地震科学研究所(地震計やひずみ計の設置)など

2. 共同研究

実施中

- ・産業技術総合研究所(ボーリングコアを用いた岩盤応力評価手法の高度化)
- ・東北大学(傾斜計を用いたモニタリング技術の開発)

実施予定

- ・原子力環境整備促進・資金管理センター、電力中央研究所などの研究機関

など積極的に進めて参ります。